市民との意見交換会について(案)

1 ねらい

- ・ 提言書素案を市民に説明し、広く意見を頂き、今後の検討に反映させる。
- ・ 自治基本条例に関する市民意識の醸成を図る。

2 日程

地区	日時	場所
上河内·河内	5月20日 (火)	上河内地域自治センター
	午後6時~午後8時	
北西	5月29日(木)	富屋地区市民センター
16 19	午後6時~午後8時	歯座地区印代ピング
南部	6月27日(金)	雀宮地区市民センター
(百 円)	午後6時~午後8時	在 呂 地 区 川 氏 ピンクー
東部	7月 3日(木)	清原地区市民センター
(同) 宋	午後6時~午後8時	信原地区川氏ピンター
т т	7月13日(日)	= 次示★ c e 1 4 以 D e 2 c c c c c c c c c c c c c c c c c c
中央	午後1時30分~午後3時30分	市役所本庁舎14階D会議室

3 周知活動等

- ・ 意見交換会の会場で、1週間前からパネル掲示を行う。
- 広報紙 → 6・7月号に掲載予定。
- ・ 自治会回覧 → ニュースレター全戸配布
- ・ 新聞による周知
- ・ その他広報媒体による周知(ホームページ,庁内電光掲示板,ラジオ等)
- ・ 市内で公共的な活動を行う団体に、事前に開催案内を送付 (例)リーダーズクラブ、地域まちづくり協議会、自治会連合会の役員会 など

4 内容等

- 全体司会 ・・・ 考える会議広報班
- 当日の役割分担については、別紙2のとおり

時間	意見交換会の内容	当日の役割分担	配布資料等
20 分程度	自治基本条例を考え る会議の検討経過・ 提言書素案の説明	各分科会世話人	 ・別紙3 「『宇都宮市自治基本条例提言書(素案)』の概要(案)」(パワーポイント版)のとおり ・別紙4 「『宇都宮市自治基本条例提言書(素案)』の概要(案)」(資料版)のとおり
60 分程度	ワークショップ ・意見交換	考える会議委員(*) ・ 各グループ進行役 として,考える会議 委員が参加する。 ・ 各グループは,約 10名程度とする。	・別紙5 「『みんなで考え,みんなで実行!!みやのまちづくりルール』の集い~グループ別意見交換会~」のとおり・別紙6 「『みんなで考え,みんなで実行!!みやのまちづくりルール』の集い~ワークショップ~」のとおり
30 分程度	全体での意見交換 ・まとめ	会長,副会長等	

^{*} およそ10人が1つのグループとなり, $5\sim6$ グループとなるため,毎回, $5\sim6$ 名 の参加をいただきたい。

5 参加の働きかけについて

- ・ 私たち「考える会議」の提言書(素案)がまとまり、その内容をより多くの市民に知らせるとともに、条例の必要性・意義を再確認するよい機会
- ・ 会場に近い地域の方々の一人でも多い参加を依頼

6 その他

・ 意見交換会において、趣旨の異なる質問や意見など、運営に支障を来たす場合 は、事務局が対応する。